

第 61 回北海道高等学校登山選手権大会 審査員講評

行動(体力・歩行)

- ・体力差が大きい。日頃のトレーニングが重要。
- ・体力がつくと余裕ができ、いろいろな登山の知識が吸収出来る。
- ・雪渓のキックステップの差が顕著。下りの雪渓は危険なので歩く練習が必要。

生活(装備・設営撤収・炊事)

- ・高山では、夏でも防寒着が必要。不備な防寒着は生命に関わる。雨具も同様。
- ・テント内のザックは、テント本体に接触していると雨が降ったとき浸水する可能性があるので離すこと。
- ・ゴミはテント本体の中に入れる。フライのとは間は、動物等に荒らされる。
- ・テント設営練習が不足しているパーティーがあった。
- ・テント設営後は、ハンマーも必ずしまうこと。
- ・テントポールのゴムが伸びているものがあつたので修理すること。テントのファスナーについても同様。
- ・炊事で火気を扱う場合は、必ず手袋をすること。
- ・帽子のゼッケンは前に付けること。
- ・首にタオルを巻いてぶらぶらさせないこと。
- ・医薬品については、タッパーに入れるだけでなく、別に防水が必要。

知識

- ・天気図は練習不足が目立つ。日々の努力が大切。
- ・計画書の概念図に差があつた。しっかりかけるように練習すること。
- ・記録書は、周りをよく観察しながら行動し、その地点の様子をメモ出来るように、普段の山行から練習すること。
- ・地点確認は、体力に余裕があるパーティーはまずまずできていた。分岐や主要地点からどれぐらい歩いたかを考えれば大体予想がつくので、普段の山行の時も考えながら歩くこと。
- ・ペーパーテストは、よく勉強しているところとそうでないパーティーの差が顕著に出る問題だった。一般常識に欠ける解答が見受けられ、普段からいろんなことに興味を持って行動してほしい。

態度

- ・集合時間に遅刻するとその後の日程に大きく支障をきたすので必ず守るように。

★登山部報や北海道高体連登山大会審査基準をしっかりと読んで準備すること。